

7才になったら健康診断を！

犬・猫の7才は人の45～50才に相当し、シニアのステージにはいります。この年齢になると心臓病や腎臓病のリスクが高くなります。

いったん心臓病や腎臓病になると、病気そのものは残念ながら治ることはありません。しかし、これらの病気は初期では目立った症状もなく、なかなか気づくことができません。

そのため、定期的に健康診断を行い、早期に病気を発見し、治療を始めることが寿命をのばす秘訣です。初期の心臓病や腎臓病は聴診や尿検査などの簡単な検査で発見することができます。

当院では、7才以降のわんちゃんに無料で尿検査、触診、聴診、歯科検診等を行い、その結果をもとに最適なフードをプレゼントします。

※次回来院時にこちらのハガキをご持参下さい。

(有効期限：2010年10月末日まで)

